



2026年産宮城県産いちごの輸出を開始します！

宮城県では、県内生産者、食品商社及び海外小売店と連携し、2023年1月から海外に向けた県産いちごの定期・定量輸出に取り組んでいます。

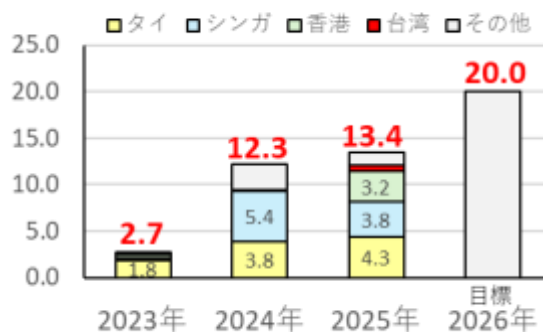
輸出開始3シーズン目の2025年産いちごでは、輸出先を6か国・地域に拡大し、合計13万パックを超える輸出実績を達成しました。

4シーズン目を迎える2026年産いちご（2025年12月から2026年6月までを予定）では、昨シーズンの1.5倍となる20万パックの輸出を目指しており、昨シーズンより1か月以上早い、12月7日から輸出を開始します。

また、今年度は新たな試みとして、現地ECサイトによる販売も行います。

宮城県産いちごの輸出の取組について、ぜひ取材くださるようお願いします。

宮城県産いちご輸出量の推移と目標（万パック）



※アライドコーポレーションによる宮城県産いちごの輸出量

○ 2026年産いちごの輸出概要（※予定を含む）

- (1) 輸出期間 2025年12月7日から2026年6月上旬頃まで
- (2) 輸出先 タイ、シンガポール、香港、台湾、グアム、マレーシア（6か国・地域）
- (3) 輸出体制
 - ・生産者：県内いちご生産法人等9者（山元町、蔵王町、石巻市、東松島市）
 - ・産地事務局：株式会社いちまん（山形県南陽市）
 - ・輸出者：株式会社アライドコーポレーション（神奈川県横浜市）
 - ・販売者：株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（PPIH）等

○ 今後の予定

- (1) 海外小売店舗での販売プロモーション
 - ・時期：2026年1月下旬頃～2月上旬中旬頃（旧正月やバレンタイン需要期に合わせたPR）
 - ・内容：店舗での試食販売（タイ、シンガポール、台湾等）インフルエンサーを活用したPR（タイ）
- (2) 現地ECサイトを活用した販売
 - ・時期：2025年12月から
 - ・内容：日本の高品質な食材をタイ市場に向けて販売する株式会社アライドコーポレーションの現地法人（Bangkok Food System Co., Ltd）が運営する自社ECサイト「Fan Japan Fun」での販売を新たに行う。



昨年度の販売プロモーションの様子